

第33回岡山戦災の記録と写真展

—岡山空襲と岡山の65年—

2010年6月4日(金)~6月30日(水)



岡山市デジタルミュージアム4階企画展示室 入場無料

開館時間 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで) 休館日 月曜日

岡山空襲中の写真

米国立公文書館蔵/工藤 洋三 提供

記念講演会 聴講無料

「米軍から見た岡山—岡山空襲中の写真が語るもの—」

日時 6月12日(土) 午後1時30分~3時30分

場所 岡山市デジタルミュージアム4階講義室 定員先着80名

講師 徳山工業高等専門学校 教授 工藤 洋三さん

第2回岡山市平和コンサート ~愛と平和の歌~ 入場無料

日時 6月12日(土) 午前10時30分~12時

場所 岡山市デジタルミュージアム2階 ひかりの広場

出演 福田 浩子さん(ソプラノ) 大谷 麻美さん(ピアノ)

桃太郎少年合唱団



JR岡山駅から東西連絡通路で直結
岡山市北区駅元町15-1 TEL 086-898-3000

主催 岡山市・岡山市デジタルミュージアム 共催 岡山市教育委員会



岡山市デジタルミュージアム



天満屋付近から撮影された岡山空襲後の市街地(上・下とも) 坂本 一夫 撮影 個人蔵



第33回岡山戦災の記録と写真展

—岡山空襲と岡山の65年—

昭和19年から20年にかけて、日本全土において市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。

岡山市の場合は昭和20(1945)年6月29日に市街地中心を目標とした大規模な空襲を受け、当時の市街地の約63%を失い、少なくとも1700人をこえる死者が出ました*。

この空襲がどのように行われ、どのようなものであったのか。岡山空襲に関する資料や写真、体験された方の証言、米軍が撮影した写真や動画などを紹介します。

*最近の研究では2000人をこえるという説もあります。



岡山市街地のリト・モザイク(石版集成図)
爆撃中心点を中心に半径約1.2kmの円が描かれる。 工藤 洋三 提供 米国国立公文書館蔵



米軍の来襲方向と市街地焼失部分が記録された空襲当日の地図。岡山市防空本部作成。
「@焼夷弾爆撃二依り焼失状況図」
岡山市立中央図書館蔵



7月5日の米軍の電文。岡山空襲に関する報告が記載されている。
工藤 洋三 提供 米国国立公文書館蔵



M69焼夷弾の製造風景。岡山空襲ではM74焼夷弾とM47焼夷爆弾の2種類が使用された。
工藤 洋三 提供 米国国立公文書館蔵

